

日本共産党 西宮市議会議員

三好さつきだより



〒662-8367 西宮市六湛寺町10-3

TEL・0798-35-3368

s.miyoshi0506@gmail.com



2024.3 No6

* 3月議会 *

2月21日から3月議会がはじまりました。今議会は各会派の代表質問があり、新年度の予算審議を含む大事な議会です。私、三好さつきは一般質問に続き、初めての予算審議にドキドキしながらも住民のいのちとくらしを守るためにと奮闘しています。

一般質問では、元旦に発災した能登半島地震の避難所の様子から、西宮市の防災対策はどうなっているのか、阪神西宮駅北側に民間主導の開発事業として中央図書館が移設されることについて聞きました。

①災害時の対応について

Q 一般避難所における女性・子どもへの配慮は？

A 男女別の更衣室やトイレ、授乳スペースを設置するとともに、障害のある子どもなど他の避難者と同じ空間では、生活が困難な要配慮者のために福祉避難室を設ける。女性の視点を活かすために運営に女性の参画を予定。

←避難所運営マニュアルの改定、発信、訓練を行うことを求めました。

Q 在宅人工呼吸器装着患者の対応は？

A 現在、把握している57名の方について、個別の災害対応マニュアルを作成し、年1回保健師、訪問看護師が訪問、人工呼吸器のバッテリーの時間やハザード状況を確認している。新年度より、非常用電源装置等が日常生活用具の給付対象となる。

←緊急時の受け入れについて病院との個別調整、個別ケースの避難訓練を求めました。



②中央図書館について

Q 中央図書館の役割・取り組みについて

A 市には4つの拠点図書館と7つの分室がある。中央図書館は30万冊の蔵書、資料保存機能を備えており、資料の閲覧にも市内外から多数の来館がある。来館数は北口に次ぐ2番目に多い。展示やブックフェアも活発に取り組み、4館の中では開催数が多い。

Q 図書館の利用圏について

A 明確な基準はない。

←半径1キロメートル前後の円を描いた圏内といわれている。移設により、圏内から外れてしまう。地域から文化施設がなくなることは大きな損失だ。

Q 地域の声を聴く機会を！

A 阪神西宮駅北側の建築物が完成し、跡地の利活用は7年以上先となる。

←まず、地元住民の声を聴き、建設の進捗の確認、意見のすり合わせを平行して行ってほしいと求めました。



介護保険事業 計画第9期 について

私が所属する健康福祉常任委員会において、議案「西宮市介護保険条例の一部を改正する条例制定の件」の審査を行い、共産党を除く賛成多数で承認されました。請願「次期介護保険料の引き下げを求める請願」は共産党を除く賛成多数で不採択となりました。

「介護保険料はどうなるのか?」といった心配の声が多数寄せられています。条例改正により、基準額は5600円から6400円となり、次期介護保険料は値上がります。皆さんの元へは、6月ごろに決定通知が届く予定です。請願の内容は介護給付費準備基金を全額取り崩して保険料を引き下げようという内容でした。今期は17億円を取り崩すしましたが、残り3億円は認知症診断等に使う予定とのこと。また、介護度4,5の方のおむつ支給代を地域支援事業から保健福祉事業に移行、すなわち財源を介護保険料とすることとなり、このことによっても介護保険料に影響することがわかりました。←本会議で討論します！

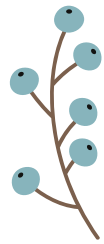


地域で介護保険制度について
学習会を行いました。



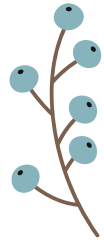
①うれしいお知らせ

西宮市は「パートナーシップ宣誓証明制度」を2021年よりスタートしていますが、本年4月より、家族で宣誓できる「パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓証明制度」に拡充されます！



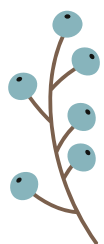
②うれしいお知らせ

党議員団が求めてきました、学校女子トイレへの生理用品の配備。2023年度に高校から始まりましたが、新年度は市内の全小中学校に配備されることになりました！配備方法は各学校で相談されます。1校あたりの予算は年間3500円。



③うれしいお知らせ

コロナの時のパルスオキシメーター。党議員団の予算要望で貸出後の活用を確認。庁内活用後の残1800個については市内事業所に最大5個まで配布することが決まりました！さっそく、引き渡しで喜ばれています！



防災のとりくみ

2月18日（日）西宮浜義務教育学校で防災フェスタがあり、参加しました。防災クイズや災害食について聞き、地域のハザード状況を確認。最後は校庭で参加者全員でSOSの人文字を作り、ヘリコプターに手を振りました。今回、一般質問で避難所を取り上げ、他自治体の先進事例なども学びました。障害児者の家族の方たちからは災害時の現状や要望をたくさん聞かせていただきました。市だけでは、限界もあります。国をあげて、災害研究を行い、機関や防災体制とそれに見合う財源の充実も必要だと感じました。